

第59回 The 59th Annual Meeting of
the Japanese Hospital and Community Psychiatry Association

日本病院・地域精神医学会総会 練馬大会

抄録集

今、変えて行く勇氣

～病院を問い直し 地域を耕し
当事者と共に生きる社会を創ろう～

会期 2016年10月13日(木)・14日(金)

会場 練馬文化センター／
区民・産業プラザ Coconeri ホール

第59回 The 59th Annual Meeting of
the Japanese Hospital and Community Psychiatry Association

日本病院・地域精神医学会総会 練馬大会

抄録集

今、変えて行く勇気

～病院を問い直し 地域を耕し
当事者と共に生きる社会を創ろう～

会期

2016年10月13日(木)・14日(金)

会場

練馬文化センター

〒176-0001 東京都練馬区練馬1丁目17番37号 TEL:03-3993-3311(代表)

区民・産業プラザ Coconeriホール

〒176-0001 東京都練馬区練馬1丁目17番1号 TEL:03-3992-5335

大会長

金杉 和夫 金杉クリニック

副大会長

大塚 淳子 帝京平成大学 健康メディカル学部

後藤 恵 成増厚生病院 翠会 HCG 精神医学研究所

関口 明彦 ライフサポート MEW

高畠 克子 日本・精神技術研究所

中島 直 多摩あおば病院

長谷川利夫 杏林大学 保健学部

横山 晶一 こころのクリニック石神井・陽和病院

第59回日本病院・地域精神医学会総会 練馬大会 事務局

〒178-0063 東京都練馬区東大泉1丁目37番13号 和田第2ビル

金杉クリニック内

FAX: 03-5905-1530 E-mail: 59nerima@gmail.com

会場アクセス



●会場へのアクセス

西武池袋線・西武有楽町線・

都営地下鉄大江戸線 「練馬駅」下車 ➡ 練馬駅北口 徒歩1分

●電車路線図

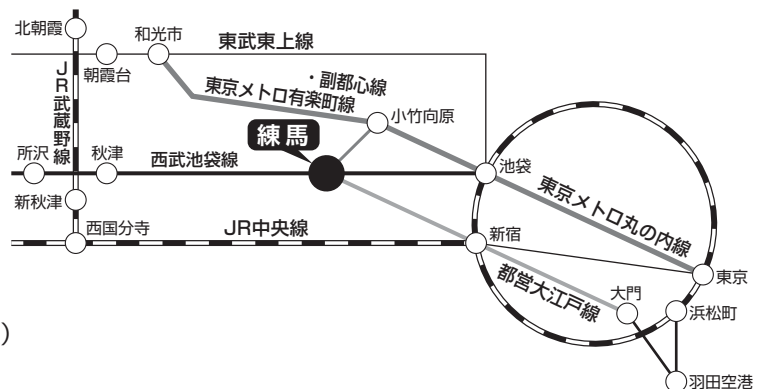
■西武池袋線・西武有楽町線 (東京メトロ有楽町線直通)

池袋駅から飯能・小手指・所沢方面

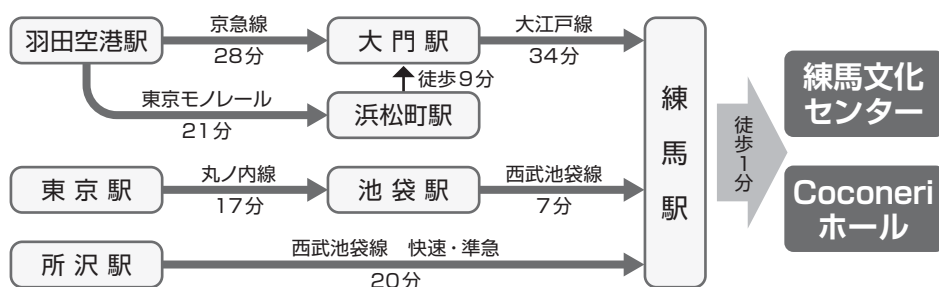
- ・快速・通勤準急・準急 (1 駅) 約7分
- ・各駅停車 (5 駅) 約10分

■都営地下鉄大江戸線

- ・新宿駅から都庁前・光が丘方面 (8 駅) 約20分



●電車でのおおよその所要時間(時間は目安です)



会場案内図

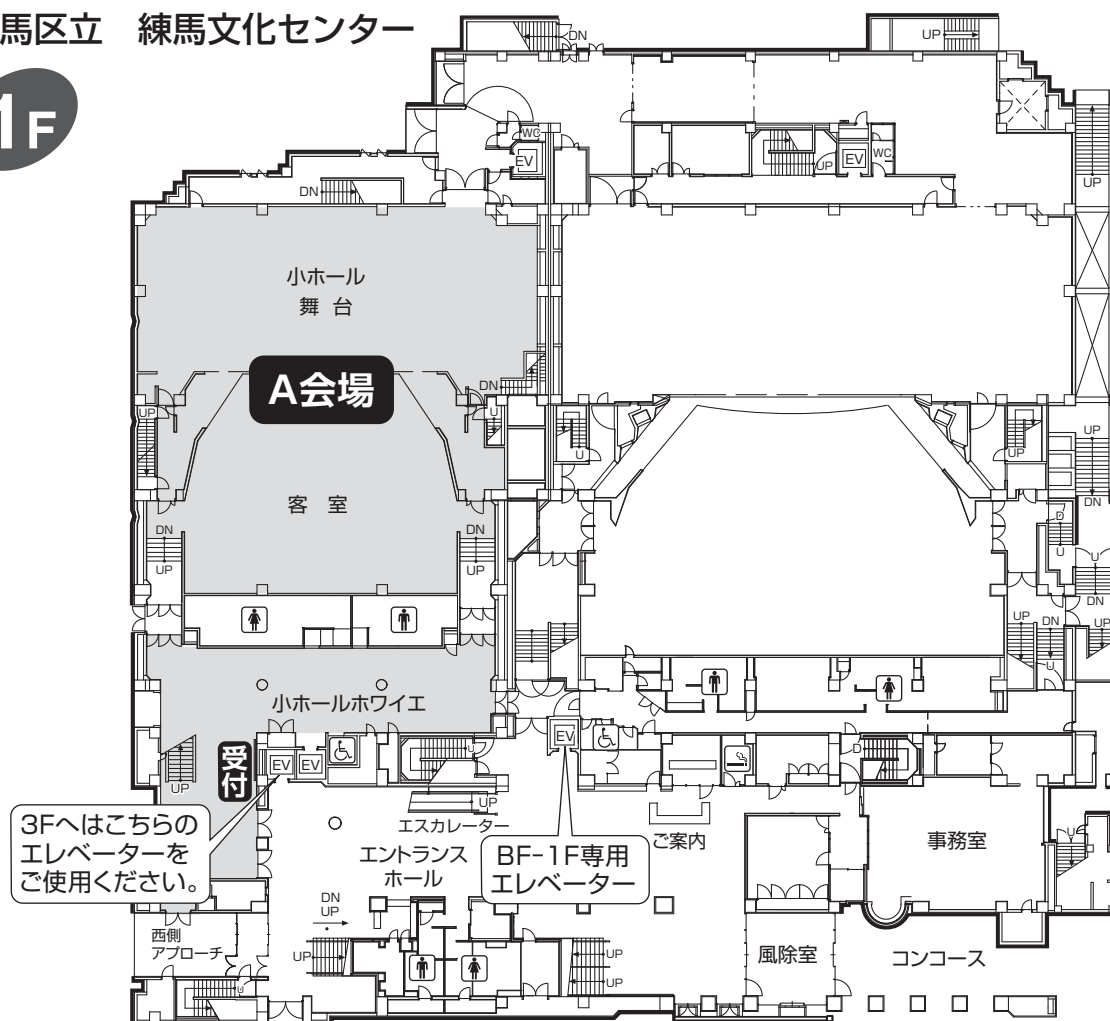
練馬区立 練馬文化センター

B1F



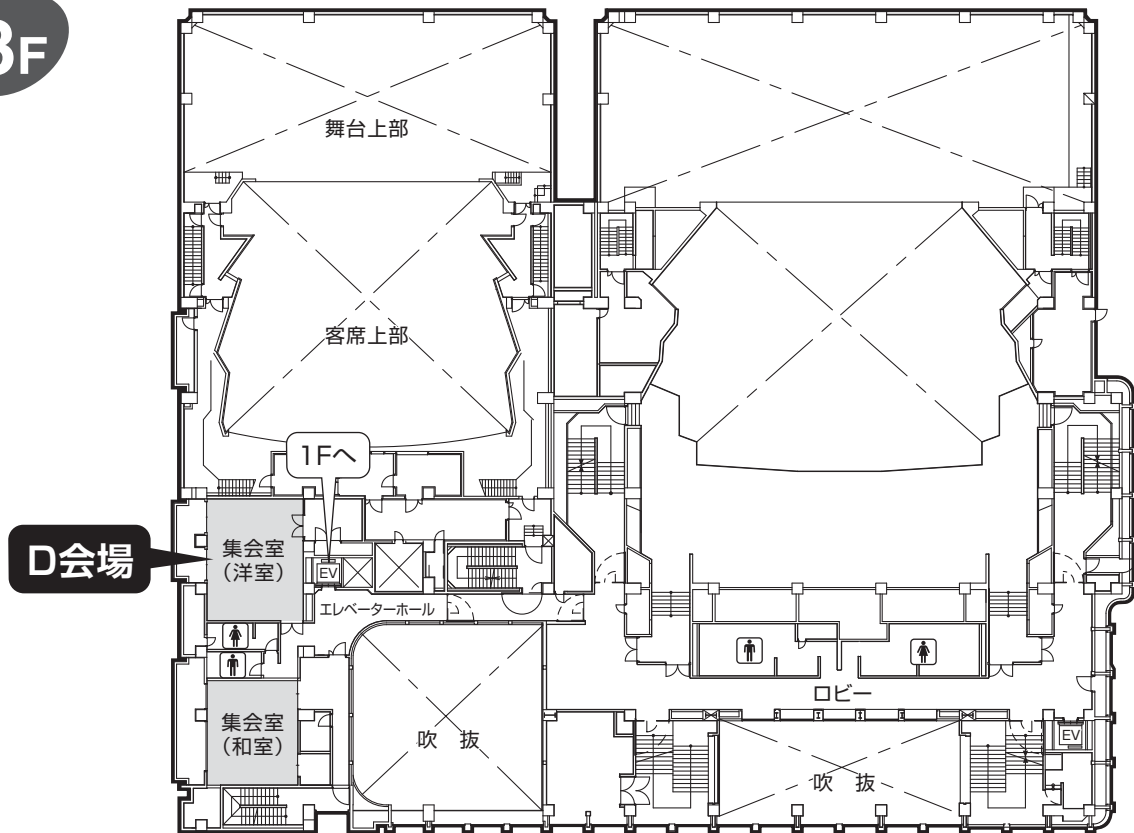
練馬区立 練馬文化センター

1F



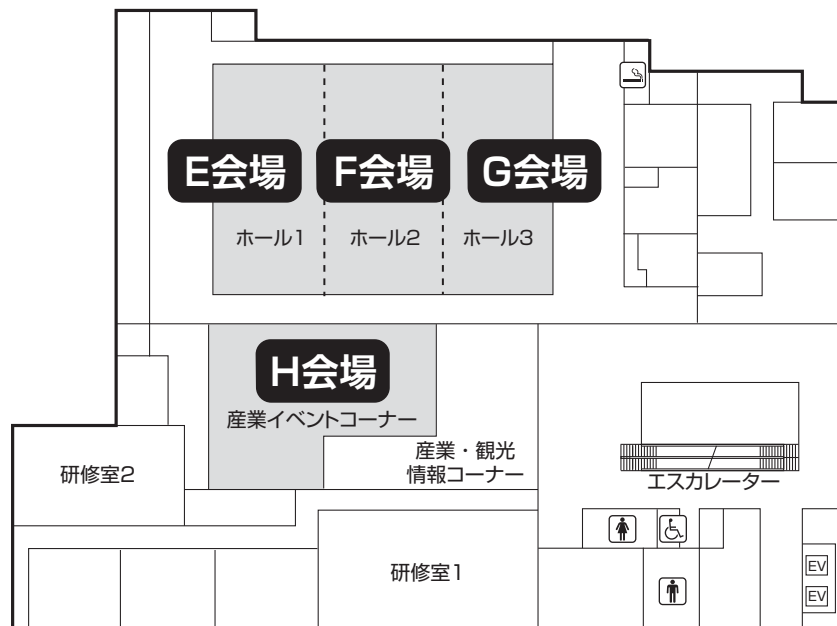
練馬区立 練馬文化センター

3F



練馬区立 区民・産業プラザ Coconeriホール (13日のみ)

3F



第1日目 10月13日(木)

練馬文化センター				
A 会場 1F 小ホール		B 会場 B1F 第1リハーサル室	C 会場 B1F 第2リハーサル室	D会場 3F 集会室・洋室
9:15	9:15～ 参加受付・学会本部受付(小ホール ロビー)			
10:00	9:30～ 開 会 式			
11:00	10:00～12:30 [I-A1] シンポジウムⅠ 精神科病院を問い直す	10:00～12:30 [I-B1] シンポジウムⅡ 〈理事会企画〉 精神保健福祉法体制 からの転換		
12:00				
13:00	13:00～14:00 総 会			12:30～13:50 昼食開放
14:00	14:00～14:20 濱田賞表彰式	14:00～15:20 [I-B2] 分科会 ⑤ 法と人権 1	14:00～17:00 [I-C1] 食と栄養セミナー *摂食・嚥下 ～基本と精神科の特徴～ *地域移行と栄養士に 求められるもの (栄養士以外の方も参加できます)	14:30～16:00 [I-D1] 交流コーナー ①
15:00	14:30～17:00 [I-A2] シンポジウムⅢ 地域を耕す： 居場所づくりを通して	15:30～17:00 [I-B3] 分科会 ⑥ 法と人権 2		日本カナダ国 際精神保健交 流協議会の活 動について
16:00				
17:00	17:30～19:00 市民公開講座 私たちがふだんの中に隠していること 小説家・小池 真理子 氏 ●参加無料・申込不要・手話通訳付き	17:30～19:00 [I-B4] 夜間交流集会 精神医療・福祉の現状 を問う Part 14		
18:00				
19:00				

第2日目 10月14日(金)

練馬文化センター				
A 会場 1F 小ホール		B 会場 B1F 第1リハーサル室	C 会場 B1F 第2リハーサル室	D会場 3F 集会室・洋室
9:15	9:15～ 参加受付・学会本部受付(小ホール ロビー)			
10:00	9:30～11:00 [II-A1] 教育講演 3 精神医学の過去・現在・未来 講師：森山 公夫 氏	9:30～11:00 [II-B1] 看護セミナー (看護以外の方も参加できます)	9:30～11:00 [II-C1] 診療報酬セミナー	9:30～11:00 [II-D1] 交流コーナー ②
11:00	11:10～12:30 [II-A2] 教育講演 4 当事者研究から見た痛みと支援 講師：熊谷 晋一郎 氏	11:10～12:30 [II-B2] 障害者虐待防止セミナー 自分らしく生きられる ために	11:10～12:30 [II-C2] 交流コーナー③ 長期入院患者の退院促進・ 地域定着支援のためのガイ ドラインの検討	精神障害者と家 族の権利擁護 のための裁判闘 争の意義と課題
12:00				
13:00				12:30～13:30 昼食開放
14:00	13:30～15:30 [II-A3] シンポジウムⅤ 病院・地域精神医学の 進むべき道	13:30～15:30 [II-B3] 薬剤師セミナー (薬剤師以外の方も参加できます)		
15:00				
	15:30～ 閉 会 式			

第1日目 10月13日(木)

区民・産業プラザ Coconeri ホール			
E 会場 ホール 1	F 会場 ホール 2	G 会場 ホール 3	H 会場 産業イベントコーナー
10:00～11:10 [I-E1] 教育講演 1 薬物療法の功罪 講師：田島 治 氏	10:00～11:30 [I-F1] 分科会 ① 地域移行・生活支援	10:00～11:15 [I-G1] 分科会 ③ 外来・リハビリテーション	10:00 ～ 販売 展示 ス ペ ー ス
11:20～12:30 [I-E2] 教育講演 2 成年後見・意思決定支援 講師：池原 毅和 氏	11:40～12:30 [I-F2] 分科会 ② 訪問看護・連携	11:25～12:30 [I-G2] 分科会 ④ 薬物療法・治療論	
		12:30～13:50 昼食開放	
14:00～17:00 [I-E3] シンポジウムⅣ 連綿と続く事件から 人権を考える	14:00～15:30 [I-F3] 分科会 ⑦ 児童・発達障害	14:00～15:30 [I-G3] 分科会 ⑨ 入院治療	
	15:40～16:45 [I-F4] 分科会 ⑧ グループワーク (アディクション・家族会)	15:40～16:45 [I-G4] 分科会 ⑩ デイケア・アクティビティ	

※受付は「練馬文化センター 小ホール ロビー」です。

※1日目の昼食場所は文化センターのD会場および、ココネリホールのG会場が
ご利用いただけます。

2日目は、文化センターのD会場のみとなります。

※文化センター・小ホール・リハーサル室内での飲食はできません。

※ごみは各自お持ち帰りください。

※昼食は、各自でご用意いただくか、近隣店舗などをご利用ください。

※所定の場所以外での喫煙は禁止されております。

大会プログラム

10月13日(木)・総会1日目【午前】

A会場(練馬文化センター1階・小ホール)

開会式 9:30～

I-A1 シンポジウムⅠ 10:00～12:30

座長：樋掛 忠彦(長野県立こころの医療センター・駒ヶ根 医師)
木村 朋子(にしの木クリニック PSW)

「精神科病院を問い直す」

シンポジスト：分島 徹(陽和病院 院長)
小山 明美(慈雲堂病院 看護科長・看護師)
加藤 真規子(こらーる・たいとう)
富山 明雄(日本カナダ国際精神保健交流協議会 当事者)

指 定 発 言：長野 敏宏(御荘病院 医師)

B会場(練馬文化センターB1階・第1リハーサル室)

I-B1 シンポジウムⅡ 10:00～12:30

座長：関口 明彦(ライフサポート MEW)
長谷川 利夫(杏林大学 保健学部 教授)

「精神保健福祉法体制からの転換」

シンポジスト：尾木 真也(こらーる・たいとう)
佐々木信夫(佐々木信夫法律事務所 弁護士)
立岩 真也(立命館大学大学院 先端総合学術研究科 教授・社会学者)
蓑島 豪智(いわくら病院 院長)

E会場(Coconeri ホール・1)

I-E1 教育講演1 10:00～11:10 ※「日本精神神経学会専門医-資格更新に関するポイント」の対象となります

座長：磯村 大(金杉クリニック 副院長)

「薬物療法の功罪」

田島 治(杏林大学名誉教授／はるの・こころみクリニック院長)

I-E2 教育講演2 11:20～12:30 ※「日本精神神経学会専門医-資格更新に関するポイント」の対象となります

座長：桐原 尚之(全国「精神病」者集団 運営委員)

「成年後見・意思決定支援」

池原 毅和(東京アドヴォカシー法律事務所 所長)

10月14日(金)・総会2日目【午前】

A 会場(練馬文化センター1階・小ホール)

II-A1 教育講演3 9:30～11:00 ※「日本精神神経学会専門医-資格更新に関するポイント」の対象となります

座長：齊藤 雅(八幡厚生病院 院長)

「精神医学の過去・現在・未来」

森山 公夫(陽和病院 名誉院長)

II-A2 教育講演4 11:10～12:30 ※「日本精神神経学会専門医-資格更新に関するポイント」の対象となります

座長：大塚 淳子(帝京平成大学 健康メディカル学部)

「当事者研究から見た痛みと支援」

熊谷 晋一郎(東京大学先端科学技術研究センター 准教授)

B 会場(練馬文化センターB1階・第1リハーサル室)

II-B1 看護セミナー 9:30～11:00 ※看護以外の方も参加できます

司会：桑野 祐次(陽和病院 看護師)
岡部 みどり(金杉クリニック 看護師)

「その人らしい生活を支えるための精神科訪問看護とは」

コメンテーター：寺田 悦子(株式会社円グループ 看護師 PSW)

シンポジスト：星丘 匡史(にいざ生活支援センター PSW)

昌本 忠一(北大泉訪問看護ステーション 看護師)

岡田 博美(NPO 暮らしネット・えん 管理者・相談支援専門員)

土屋 秀則(訪問看護ステーション風 看護師)

II-B2 障害者虐待防止セミナー 11:00～12:30

座長：比留間 ちづ子(若年認知症社会参加支援センター ジョイント)

「自分らしく生きられるために」

講師：赤平 守(一般社団法人 生きにくさを抱えた障害者等の支援者ネットワーク JD 理事)

林田 俊法(NPO 法人 ミニケアホーム きみさんち理事 東京都地域密着型協議会 副理事)

当事者の方(調整中)

濱田賞受賞の言葉

10月13日(木) 14:00～14:20 A会場(練馬文化センター1階・小ホール)

市民公開講座

※手話通訳付き

10月13日(木) 17:30～19:00 A会場(練馬文化センター1階・小ホール)

座長：金杉 和夫(金杉クリニック 院長)

「私たちがふだん心の中に隠していること」

小池 真理子(小説家)

滅多に講演は引き受けて貰えない小池真理子さんに「私たちがふだん心の中に隠していること」という興味深いテーマで講演をお願いすることができた。この好運を逃さず是非みなさんにこの講演を聴いていただきたい。ここでは小池さんの作品に馴染の少ない方のために代表作をいくつかご紹介しましょう。

1990年代に発表された「恋・三部作」＝『無伴奏』『恋』『欲望』＝は小池さんの出世作であり、代表作と言えます。1969年の仙台を舞台に、多感で好奇心が強く、父と学校と社会に反抗し制服廃止闘争に立ち上がり、大胆に行動する高校生の響子は「無伴奏」というバロック喫茶で、やさしく陰のある4歳年上の大学生と知り合い恋に落ちる。『無伴奏』の響子は作者の青春そのもので、今年3月に公開された成海璃子主演の映画にはその時代が懐かしく再現されていた。直木賞受賞作の『恋』では、内向的で文学好きな女子大生の布美子が研究助手のアルバイトをしたことがきっかけで大学助教授夫妻との倒錯的な愛情関係に巻き込まれていく。華麗な文章に魅了され何回も読み返したくなる作品だ。島清恋愛文学賞を受賞した『欲望』では、やはり文学好きな図書館司書の類子が妻子ある同僚との肉欲関係に溺れながら、性的不能の美しい男性に強く惹かれ、愛と性と欲望の狭間で葛藤する。これらの三部作はいずれも文庫本で読むことができる。

小池作品の最初の魅力は、主人公の喜びや恐れ、期待と失望など心の動きが的確に分かりやすく共感できる言葉で描かれ、読者も一緒に恋の世界に引き込まれていくことだ。次の魅力は、恋をした相手の秘密や相手とのねじれた関係から事態は暗転し、主人公が反道徳的あるいは倒錯した愛情関係に巻き込まれて行く驚きの展開である。

今年の「小説すばる」4月号のインタビューで小池さんは、「もともと小説は反道徳的なもので、世間の人たちがふだん隠していることを表現するものだ」「小説家の役割というのは、今ある現実の中で誰もが心によぎるようなこと、よぎるんだけど人前で口にできないこととか、自分自身ですらそれを否定しなきゃいけないと思ってしまうようなことをえぐり出して、表現することだと私は思っています。」と述べている。今回の講演の「私たちがふだん心の中に隠していること」というテーマはこの小池さんの創作の核心を指している。

2000年代に小池さんが発表した多くの長編の中でお薦めは、カルト的な極左集団の山岳アジトに誘い込まれた女子大生の脱出逃亡と恋愛を描いた長編『望みは何と訊かれたら』です。この作品は全共闘世代の読者に人気がある。この他にも、小池さんは恋愛とミステリーを中心に多数の短編を発表し、短編小説の名手としても名高い。

2010年代の最近作では、病で言葉を失った父との交流を描く吉川英治文学賞受賞作『沈黙のひと』と、謎めいた精神科医が登場する『モンローが死んだ日』が面白かった。前者では、かつて父に激しく反抗した娘が、亡き父の恋の遍歴をやさしいまなざしで振り返る。後者では、愛する夫に先立たれ猫と静かに暮らす50歳代後半の女性が鬱で治療を受けたことをきっかけに恋におち、不可解な謎に巻き込まれていく。マリリン・モンローがどこに登場するかは読んでのお楽しみだ。どちらの作品にも恋を語りながら病と老いと死に向き合う作者の心境が感じられる。最新の短編集は切ない恋の想いがあふれた『千日のマリア』と本当に恐ろしい『怪談』で、どちらも読み出すとやめられない、まさに極め付きの面白さだ。門脇麦主演の映画が現在公開中の『二重生活』も最近作だが、こちらは尾行に熱中する若い女性の冒険をみずみずしく描いた作品だ。(金杉和夫)

教育講演

※「日本精神神経学会専門医-資格更新に関するポイント」の対象となります

教育講演1 10月13日(木) 10:00～11:10

E会場(Coconeri ホール・1)

座長：磯村 大(金杉クリニック 副院長)

「薬物療法の功罪」

田島 治(杏林大学 名誉教授／はるの・こころみクリニック 院長)

教育講演2 10月13日(木) 11:20～12:30

E会場(Coconeri ホール・1)

座長：桐原 尚之(全国「精神病」者集団 運営委員)

「成年後見・意思決定支援」

池原 毅和(東京アドヴォカシー法律事務所 所長)

教育講演3 10月14日(金) 9:30～11:00

A会場(練馬文化センター1階・小ホール)

座長：齊藤 雅(八幡厚生病院 理事長)

「精神医学の過去・現在・未来」

森山 公夫(陽和病院 名誉院長)

教育講演4 10月14日(金) 11:10～12:30

A会場(練馬文化センター1階・小ホール)

座長：大塚 淳子(帝京平成大学 健康メディカル学部)

「当事者研究から見た痛みと支援」

熊谷 晋一郎(東京大学先端科学技術研究センター 准教授)

シンポジウムI

10月13日(木) 10:00～12:30 A会場(練馬文化センター1階・小ホール)

座長：樋掛 忠彦(長野県立こころの医療センター・駒ヶ根 医師)
木村 朋子(にしの木クリニック PSW)

「精神科病院を問い直す」

病院のやるべき、あるいはやるべきでない仕事を、地域の実情の中で考える。具体的には、都内の練馬地域をとりあげ、精神科病院から、ポリシー、当該地域また東京都内での自己像や自院の役割についてどう考えているか、今後の展開などを語ってもらう。それに対して病院外(地域の活動、当事者)から病院に対してつっこんでもらう。長野先生には、地域(=住民)づくりを継続的に行っていて、その中で地域資源のひとつである精神科病院がモデルチェンジを続けている御荘病院の実践から指定討論をお願いする。

シンポジスト：分島 徹(陽和病院 院長)
小山 明美(慈雲堂病院 看護科長・看護師)
加藤 真規子(こらーる・たいとう)
富山 明雄(日本カナダ国際精神保健交流協議会 当事者)

指定発言：長野 敏宏(御荘病院 医師)

シンポジウムV

10月14日(金) 13:30～15:30 A会場(練馬文化センター1階・小ホール)

座長：古屋 龍太(日本社会事業大学大学院 教授)
中島 直(多摩あおば病院 医師)

「病院・地域精神医学の進むべき道」

病院は旧来からの長期・閉鎖的入院が続いているが、急性期を中心とした実践も行われてきている。診療所も一定の役割を果たしている。一方地域でも種々の通所・入所や訪問などの実践が行われている。これらは診療報酬や給付金、補助金などによって誘導されている側面が強い。進んでいるのは望ましい方向なのか。あるいは、抜け落ちているところはないか。また、本学会の目指すべき方向は何か。最終日に今回行われたシンポジウムを総まとめし、あえて大風呂敷を広げた議論を行いたい。

シンポジスト：樋掛 忠彦(長野県立こころの医療センター・駒ヶ根 院長)
関口 明彦(ライフサポート MEW 当事者)
高島 克子(日本・精神技術研究所 心理)
長谷川 利夫(杏林大学 保健学部 教授・作業療法士)

指 定 発 言：金杉 和夫(金杉クリニック 院長)
山下 俊幸(京都府立洛南病院 院長・日本病院・地域精神医学会 理事長)

交流コーナー

夜間交流集会 10月13日(木) 17:30～19:00

B会場(練馬文化センターB1階・第1リハーサル室)

「精神医療・福祉の現状を問う Part14」

伊藤 博吉¹⁾、伊藤 整一¹⁾、丸木 泰史²⁾、稲垣 光児²⁾、
梅井 麻帆、葦澤 明

1)医療法人 桜桂会 犬山病院、2)京都市北部精神障害者地域生活支援 センター「らしく」

交流コーナー ① 10月13日(木) 14:30～16:00

D会場(練馬文化センター3階・集会室(洋室))

「日本カナダ国際精神保健交流協議会の活動について」

田中 みどり、富山 明雄(日本カナダ国際精神保健交流協議会)

交流コーナー ② 10月14日(金) 9:30～11:00

D会場(練馬文化センター3階・集会室(洋室))

「精神障害者と家族の権利擁護のための裁判闘争の意義と課題」

東谷 幸政(精神医療国家賠償請求訴訟研究会)

交流コーナー ③ 10月14日(金) 11:10～12:30

C会場(練馬文化センターB1階・第2リハーサル室)

「長期入院患者の退院促進・地域定着支援のための ガイドラインの検討 ～効果的援助要素を軸とした 病院・地域統合型支援マニュアルをベースに～」

古屋 龍太¹⁾、高野 悟史³⁾、中越 章乃²⁾、瀧本 里香¹⁾、
古明地 さおり³⁾、古屋 喜代子⁴⁾、山下 眞史⁵⁾、賛川 信幸¹⁾、
岩見 祐亮⁶⁾、大島 巖¹⁾

1)日本社会事業大学、2)神奈川県立保健福祉大学、3)駒木野病院、4)神奈川病院、
5)特定非営利活動法人ネオ、6)ふくしま心のケアセンター

分科会

10月13日(木)

分科会 ① 10:00～11:30

F 会場 (Coconeri ホール・2)

「地域移行・生活支援」

座長：西尾 雅明 (東北福祉大学せんだんホスピタル 医師)
龍輪 恵美 (メンタルケア協議会 PSW)

分科会 ② 11:40～12:30

F 会場 (Coconeri ホール・2)

「訪問看護・連携」

座長：馬場 克司 (岩手県立南光病院 医師)
成田 真由子 (陽和病院 看護師)

分科会 ③ 10:00～11:15

G 会場 (Coconeri ホール・3)

「外来・リハビリテーション」

座長：羽藤 邦利 (代々木の森診療所 医師)
新井山 克徳 (駒木野病院 PSW)

分科会 ④ 11:25～12:30

G 会場 (Coconeri ホール・3)

「薬物療法・治療論」

座長：藤原 修一郎 (金澤文庫エールクリニック 医師)
佐藤 康一 (桜ヶ丘記念病院 薬剤師)

分科会 ⑤ 14:00～15:20

B 会場 (練馬文化センター B1階・第1リハーサル室)

「法と人権1」

座長：太田 順一郎 (岡山市こころの健康センター 医師)
高島 眞澄 (NPO 茨城県精神障害地域ケア研究会 PSW)

分科会 ⑥ 15:30～17:00

B 会場 (練馬文化センター B1階・第1リハーサル室)

「法と人権2」

座長：白石 弘巳 (東洋大学ライフデザイン学部 医師)
小川 忍 (訪問看護ステーション KAZOC 看護師)

分科会 ⑦ 14:00～15:30

F 会場 (Coconeri ホール・2)

「児童・発達障害」

座長：川上 保之 (かわかみ心療クリニック 医師)
菲澤 明 (心理)

分科会 ⑧ 15:40～16:45

F 会場 (Coconeri ホール・2)

「グループワーク (アディクション・家族会)」

座長：久江 洋企 (桜ヶ丘記念病院 医師)
藤本 豊 (心理)

分科会 ⑨ 14:00～15:30

G 会場 (Coconeri ホール・3)

「入院治療」

座長：新垣 元 (新垣病院 医師)
保田 美幸 (いわくら病院 PSW)

分科会 ⑩ 15:40～16:45

G 会場 (Coconeri ホール・3)

「デイケア・アクティビティ」

座長：齊藤 雅 (八幡厚生病院 医師)
濱上 幸司 (村井病院 作業療法士)

食と栄養セミナー

※栄養士以外の方も参加できます

10月13日(木) 14:00～17:00 C会場(練馬文化センター B1階・第2リハーサル室)

座長：岩崎 秀之(東京武蔵野病院 管理栄養士)

1.「摂食・嚥下～基本と精神科の特徴～」

入院中も退院後も摂食や嚥下に関わる問題を抱えている方も多いと思われる。今回は、口腔機能と精神疾患患者の特徴を交えて、摂食や嚥下に関する知識と嚥下障害の対策を理解する時間にしたい。

講師：小野沢 基太郎(東京女子医科大学 東医療センター口腔外科講師 歯科医師 医学博士)

座長：阿部 文乃(桜ヶ丘記念病院 管理栄養士)
岩崎 秀之(東京武蔵野病院 管理栄養士)

2.「地域移行と栄養士に求められるもの」

地域移行が進められているなかで、精神症状や薬剤による影響で、食生活が崩れることにより身体的な影響と栄養状態が劣悪な状態に進むことが危惧されている。しかし、現状では食生活が大切なことは判っていても、その改善は進んでいない。今回のシンポジウムでは、たくさんの課題から先ずは地域での食の課題は何か、栄養士に求められているものは何かを共有し、在宅、施設、病院の対策を考えていきたい。

シンポジスト：近藤 安恵(慈雲堂病院 管理栄養士)
小川 紀明(東京足立病院 管理栄養士)
川込 あゆみ(訪問看護ステーション卵 看護師・保健師・PSW)
石井 保孝(リハビリセンター 転 PSW)

看護セミナー

※看護以外の方も参加できます

10月14日(金) 9:30～11:00 B会場(練馬文化センター B1階・第1リハーサル室)

司会：桑野 祐次(陽和病院 看護師)
岡部 みどり(金杉クリニック 看護師)

「その人らしい生活を支えるための 精神科訪問看護とは」

地域移行、定着支援への動きが活発化する中で、その人が望むその人らしい地域生活を実現するために精神科訪問看護の役割は重要である。そこで地域の支え手である訪問看護の取り組みや現状を出し合い、多職種と協働しながら看護の専門性をどう活かしていくか、新たな支援とは何かを探究していきたい。

コメンテーター：寺田 悦子(株式会社円グループ 看護師 PSW)

シンポジスト：星丘 匡史(にいざ生活支援センター PSW)

昌本 忠一(北大泉訪問看護ステーション 看護師)

岡田 博美(NPO 暮らしネット・えん 管理者・相談支援専門員)

土屋 秀則(訪問看護ステーション風 看護師)

診療報酬セミナー

10月14日(金) 9:30～11:00 C会場(練馬文化センター B1階・第2リハーサル室)

座長：福治 康秀(独立行政法人 国立病院機構 琉球病院 院長)
袁島 豪智(稲門会いわくら病院 院長)

「現制度の中でできることの中で 将来の方向性を探る」

診療報酬セミナーは、去年久々に開催しました。今年も開催します。

診療報酬制度に対して、こんなものが必要ですよといった提言もいいのですが、「現状の診療報酬制度の中でどんな工夫をして今抱えている課題と取り組むのか、今後の方向性を模索するのか」に今年は焦点を当ててみたいと思っています。そして、普通の講演であれば、表向きのその取組の概要や思いをお話いただくということになると思うのですが、今回は、その思いとともにその向こうにある「現実的なそろばんのはじき方」にも焦点を当ててお話ししたいと思っています。

いろいろな選択肢が示されてきていて、また示されようとしていると思いますが、その中で絵に描いた餅ではなく、実例として参考にさせていただけるように、経済的なことを可能な限り表に出して教えていただくことで、今どのような方向に舵を切るか考えている他の現場の参考になるような会にすることができればいいと考えています。

今回は病院がどう変わっていくのかという視点で2つの病院に講演をお願いしました。

医療法人光愛会(光愛病院)の横江邦彦法人事務局部長からは、地域に向けての動きの中で訪問看護ステーションの展開に力を入れておられ、そのことが経済的にも有利な状況になっている実例を示しておられるように受け取れる試みにとどまらず、国の地域包括ケアシステム、障がい者施策・介護保険施策⇒地域＝市町村単位という大枠の話、法人としての今後の取り組みについてお話しいただく予定です。

陽和病院の熊谷彰人前事務長(現 PSW)には、地域の事業所等と組まれて、まとまった規模で地域移行・定着支援をされた動きについて、病院全体の中でどのような方向性として位置づけられて、地域移行を促進する上での経済的な裏付け、工夫あるいは実情についてお話しいただきたいと考えています。

90分の枠なので、お二方に30～35分くらいでみっちりお話しいただき、その上で、参加者に開いて質疑応答をして2つの病院の取組を理解して、参加者それぞれの現場に持ち帰り、それぞれの今後を具体的に考えるアイディアを持てるような会にしたいと思っています。

講師：横江 邦彦(医療法人光愛会 法人事務局 部長)
熊谷 彰人(医療法人翠会 陽和病院 前事務局長 PSW)

障害者虐待防止セミナー

10月14日(金) 11:00～12:30 B会場(練馬文化センター B1階・第1リハーサル室)

座長: 比留間 ちづ子(若年認知症社会参加支援センター ジョイント)

「自分らしく生きられるために」

虐待とは日常と安心、希望など当然得られるべき権利が奪取されることである。

虐待を受けている人は本来の人生を取り戻せるのか? する側の心的状況は? 生じる状況とは何か? 不確定の中に社会輪廻が介在していることも多いが、解決には精神保健の専門職、弁護士、警察などの社会的ネットワークが必要である。

講師: 赤平 守(一般社団法人 生きにくさを抱えた障害者等の支援者ネットワーク JD 理事)
林田 俊法(NPO 法人 ミニケアホーム きみさんち理事 東京都地域密着型協議会 副理事)
当事者の方(調整中)

薬剤師セミナー

※薬剤師以外の方も参加できます

※「日本病院薬剤師会-精神科薬物療法認定ポイント」の対象となります

10月14日(金) 13:30～15:30 B会場(練馬文化センター B1階・第1リハーサル室)

座長：中谷 真樹(住吉病院 院長)

吉尾 隆(東邦大学薬学部医療薬学教育センター 薬剤師)

「精神科薬物治療における剤数制限と薬剤師の役割」

平成28年度の診療報酬改定では、これまで、4剤以上とされてきた、抗精神病薬、抗うつ薬についても3剤以上に制限が強化された。さらに、薬剤を減量すれば診療報酬がつくことも追加された。このような状況において、薬剤師、医師は薬物治療の適正化をより進展させる必要があるが、ユーザーの視点は最も重要である。そこで、今回はユーザーを交えて、精神科薬物治療における剤数制限と薬剤師の役割について検討したいと考えている。

シンポジスト：小林 和人(医療法人山容会 理事長・山容病院 院長)

福島 泰輔(公益財団法人 西熊谷病院 薬剤師)

山口 弘美(NPO 法人エスペランサ 当事者)

第59回日本病院・地域精神医学会総会 東京練馬大会
抄 録 集

発行日：2016年□月□日

大会長：金杉 和夫

事務局：金杉クリニック内

〒178-0063 東京都練馬区東大泉1-37-13 和田第2ビル

FAX：03-5905-1530

E-mail：59nerima@gmail.com

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<http://www.secand.jp/>